

令和7年度 学校教育活動保護者アンケート 都留市立禾生第二小学校

<評価項目> とてもそう思う:5 そう思う:4 どちらともいえない:3 あまり思わない:2 思わない:1

※肯定的意見(5・4が全体に占める割合) ※否定的意見(2・1が全体に占める割合) アンケート回収率 85.5% (112 /131)

1 学校経営・学校生活について

NO	質問内容	平均	肯定的意見	否定的意見	どちらとも
1	学校では、学習内容を習得させるべく適切な授業が行われている。	4.42	90.4%	0.0%	9.6%
2	学校は児童の間違った行動に対して適切な指導が行われている。	4.22	83.7%	4.8%	11.5%
3	学校では、教育環境の整備を適切に行っている。	4.47	95.2%	0.0%	4.8%
4	学校では、安全対策を適切に行っている。	4.44	92.3%	0.0%	7.7%
5	教師と児童の間に、信頼関係が築かれている。	4.33	86.5%	3.8%	9.6%
小計		4.38	89.6%	1.7%	8.7%

【考察】

学習指導や授業については、適切に行われているという回答であった。特に、今後も、ICTを含めた授業改善や指導法の工夫を通して、すべての子どもにとって「わかる・楽しい授業」を目指し、指導力の向上に努めていきたい。生徒指導については、概ね「適切に指導が行われている」という回答であった。児童が学校で生き生きと学び、楽しく活動していくために、今後も、児童一人ひとりに寄り添い、児童理解に努め、信頼関係を築いていきたい。さらに、児童自身が、自らの行動を振り返り、より良い行動へ改善していけるようにするために、生徒指導や教育相談の充実に努めていきたい。教育環境の整備や安全対策については、高い割合で肯定的な回答が示されている。災害や事件・事故は、いつ起きてもおかしくない時代である。今後、児童の安全確保を第一に考え、保護者や地域、関係機関と連携を図りながら、適切に整備・対策を進めていきたい。

2 児童の様子について

NO	質問内容	平均	肯定的意見	否定的意見	どちらとも
6	お子様は、学校へ行くことを楽しみにしてる。	4.22	80.8%	6.7%	12.5%
7	お子様は、学校の様子を家庭で話している。	4.24	82.7%	3.8%	13.5%
8	お子様は、授業内容を理解している。	4.00	74.0%	4.8%	21.2%
9	お子様の友達関係は、良好である。	4.31	86.5%	3.8%	9.6%
10	お子様は、家庭や地域であいさつができています。	4.15	78.8%	2.9%	18.3%
11	お子様は、早寝・早起き等の生活習慣が身についている。	3.90	62.5%	8.7%	28.8%
12	お子様は、家庭での学習習慣が身についている。	3.53	46.2%	16.3%	37.5%
小計		4.05	73.1%	6.7%	20.2%

【考察】

学校へ行くことを楽しみにしているという回答が高い割合を示していた。これからも児童理解に努め、どの子にとっても「楽しい」「学校に行きたい」「学びたい」と思える学校・学級づくりに取り組んでいきたい。授業については、授業改善を図りながら、学習内容の定着のため、教員もタブレットや電子黒板等を活用している。また、一人1台タブレットを授業の中で効果的に活用している。これからの時代を生きる子どもたちに必要な力をつけるために、教員の指導力の向上に向けて、今後も研究を積み重ねていきたい。また、学習内容の定着には、家庭学習の習慣化も大切である。今年度よりかにつこ家庭学習パワーアップウィークの取り組みを行った。タブレットの持ち帰りの学習も取り入れて、これまで以上に家庭との連携に努め、より一層の定着を図っていきたい。最近では、家庭の方から、「ゲームやSNSに触れる時間が多くなり、学習に向かう姿勢が身につけていない。」という声を聞くことが増えてきた。学校での授業にも大きく影響している。児童・保護者にネットセミナーなど外部機関を利用した講演会を開催しているが、今後も継続して端末の使い方の見直し機会を設けていきたい。

あいさつは、学校では、児童会や委員会などで、自分から進んであいさつするように取り組んでいる。さらに、家族や地域の方にも進んであいさつができるようにするためには、学校だけでなく、家庭やPTA、地域の方と連携を図りながら取り組んでいきたい。早寝・早起き等の生活習慣については、達成度がやや低い。保健や道徳の授業、学級活動の時間等に、その大切さについて伝えていきたい。睡眠については、睡眠不足が続くと、学校で眠くなり、集中できなくなるなど、学校生活に支障が出てくる。基本的な生活習慣の確立のために、今後も学校と家庭が連携しながら取り組んでいきたい。

3 保護者の学校教育への関わりに関して

NO	質問内容	平均	肯定的意見	否定的意見	どちらとも
13	PTA活動は、有意義に進められている。	4.23	79.8%	1.9%	18.3%
14	学校は保護者にとって連絡をとったり、相談したりしやすい雰囲気がある。	4.32	83.7%	2.9%	13.5%
15	災害時など緊急時の、下校の時の対応の仕方や児童の引き取り方を理解している。	4.56	98.1%	0.0%	1.9%
小計		4.37	87.2%	1.6%	11.2%

【考察】

PTA活動は、主に奉仕作業や授業参観、学年部会行事を工夫しながら実施できた。特に運動会では、保護者の駐車場をアピオプラザの駐車場を借りた結果、ゆとりある参観場所を確保することができた。運営や片付けにも積極的に協力していただき、無事に終了することができた。今後も、保護者とともに子どもたちを育てるための活動を継続して進めていきたい。子どもたちのよりよい成長には、学校と家庭が共通理解を持ち、協力して指導にあたることが大切である。必要なことは、連携をとりながら活動していきたい。保護者の負担軽減も考えながら、PTA活動の見直しも行っていきたい。非常災害は、いつ起こるかかわからないという前提のもと、災害時の対応の方法について常に確認し、家庭や地域、関係機関と連携した取り組みを進め、さらに徹底を図ってきたい。

◎その他(学校教育をより良いものにするための提案・意見)

**【考察】**

11名の方から、ご意見をいただいた。

保護者の皆様には、ご不便をおかけした面もあった。さまざまな面で学校の取組にご理解とご協力をいただいた。

学力向上、基礎学力の定着については、今後も児童理解に努めながら「わかる・楽しい授業」のため、研修を積み重ね、取り組んでいく。また、一人1台タブレット端末によるICT教育がますます重要になってきている。家庭学習の充実のため家庭学習パワーアップウィークの取り組みやタブレットの持ち帰り学習を効果的に取り入れ、児童の学力向上につなげていきたい。

生徒指導上の課題については、教職員が協働して指導にあたり、改善を図っている。個別に対応する児童が増えてきているため、今後も保護者と密に連絡を取り合い、教職員も全校体制で関わり支援していきたい。また、生徒指導や教育相談の知識を高め、安心・安全な学級づくり・学校づくりに今後も務めていきたい。特に教育相談については、スクールカウンセラーの活用や関係機関との連携を図りながら、充実を図っていきたい。

今年度は学校の設備に関して、トイレの改修工事と特別教室にエアコンが設置されたことが大きな成果としてあげられる。来年度、コミュニティスクール(CS)がスタートすることで、PTAとCSが連携して、ニーズに合った活動の在り方を探求していきたい。

学校の取組や児童の様子を知っていただくためにも、今後も、学校だよりや学級通信、スクリレやホームページ等を通して、児童の様子を発信していきたい。